

取組名称：産学公連携によるグローバル人材の育成と地域資格制度の開発

取組大学：京都産業大学（代表校）、京都府立大学、京都文教大学、佛教大学、龍谷大学

平成24年度文部科学省大学間連携共同教育推進採択事業

産学公連携によるグローバル人材の育成と地域資格制度の開発

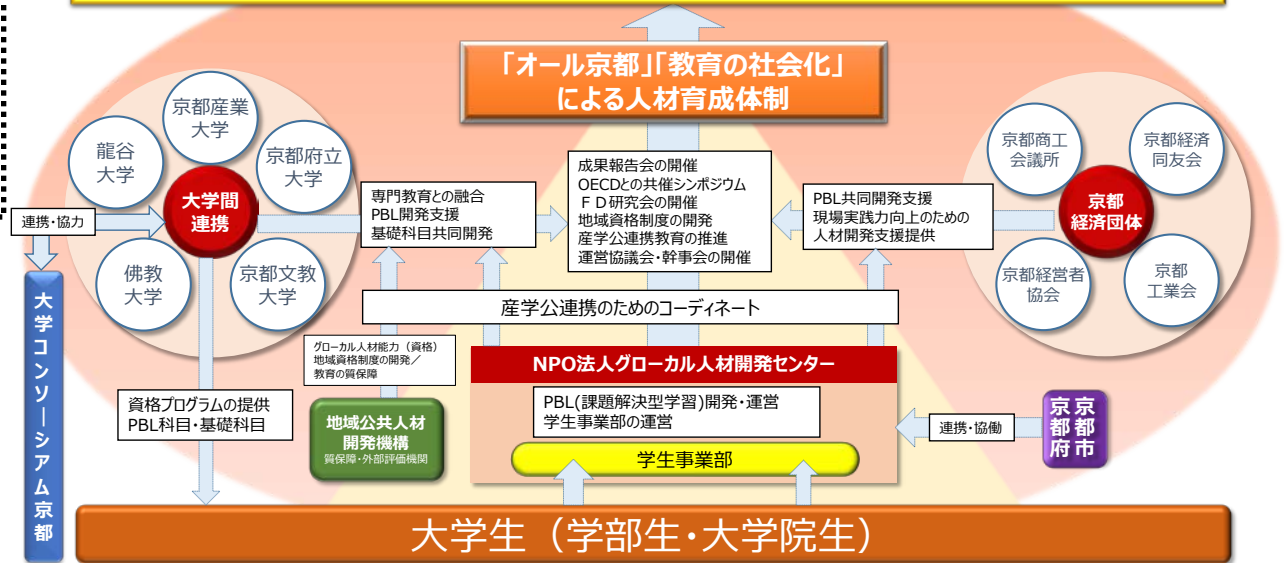
京都経済同友会を中心とする京都経済4団体と大学が協力し、確かな公共マインドと冷静なビジネスマインドを備えた地域経済を支える人材、即ち地域社会に根付きつつ、グローバル経済の荒波を読みきる能力をもったグローバル人材を育成する。

そのために、産学公が協働して「教育の社会化」のための体系的な教育プログラム「グローバル人材資格制度」を開発する。この制度は、公共政策系科目、企業人を講師とする企業連携科目、インターンシップ科目、及びPBL型科目等を修了することで、職能資格「グローバルプロジェクトマネジャー（GPM）」が付与されるものである。

また、産学連携により設立されたNPO法人「グローバル人材開発センター」がこれら科目開発・コーディネート等を行い、本事業の成果を共有し広く社会に発信する地域拠点とする。教育プログラムについては外部機関による厳格な質保証を行う。



確かな公共マインドと冷静なビジネスマインドを備えた地域経済を支える人材＝グローバル人材を育成



- 制度名称 グローバル人材資格制度
- 資格名称 「グローバルプロジェクトマネジャー」（略称GPM：Glocal Project Manager）
- 資格のフレーム 右図のとおり
- 資格付与 資格の付与は、NPO法人グローバル人材開発センター（以下、グローバルセンター）が行う。
- カリキュラム

各大学で実施される複数の科目群から成る「グローバル人材基本科目」と、グローバルセンターあるいは各大学で実施される「グローバル人材PBL（課題解決型学習）」の2つで構成される。ここでいう「グローバル人材基本科目」及び「グローバル人材PBL（課題解決型学習）」は、一般財団法人地域公共人材開発機構が実施する社会的認証により、認定されたものである。

【グローバル人材基本科目】

当該資格に必要な要素を含み、大学独自の特色のある複数の科目群で体系的に構成されたプログラムであり、各大学で開講されている「内容要素」4種類と「教育手法要素」2種類を含む複数の科目群で構成される。また、学習者が6科目（1.2ポイント）以上を科目群から選択する際、選択した科目を総合した時に、それらの要素が全て含まれている必要がある。（EQFレベル6、大学学部1～3年生以上）

【グローバル人材PBL】

学習者複数人で構成されるチームによる課題解決型学習（Project-Based Learning）である。グローバル人材基本科目で学んできたことを活かして、課題解決に取り組む実践的な科目（2ポイント）であり、原則、各大学により実施される。ただし、当該PBLは、グローバルセンターが、経済団体・企業・行政・地域等と大学・学生のコーディネートを行っているものを用いる。グローバル人材PBLを受講できる学生は、各大学において、面接や成績評価等により選抜され決定する。（EQFレベル6、大学学部3年生）

グローバル人材資格制度

